

別 紙

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

1. 期 日 平成4年3月6日(金)

2. 会 場 東京医科歯科大学 歯学部大会議室

(外来事務棟2階)

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

☎03-3813-6111

内線5500

3. 日 程

受 付 13:30~14:00

会 議 14:00~16:00

(1) 開 会

(2) 当番大学病院長挨拶

(3) 文部省挨拶

(4) 議長挨拶

(5) 議 事

① 各大学提出議題

② 第46回国立大学医学部附属病院長会議提出議題

③ その他

(6) 閉 会

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会出席者

文 部 省

高等教育局医学教育課
大学病院指導室長

杉 浦 哲 郎

高等教育局医学教育課
大学病院指導室

高 尾 敏 史

本 学

鈴 木 病 院 長
原 事 務 部 長
塩 見 総 務 課 長
河 西 管 理 課 長
福 島 医 事 課 長
鈴 木 医 事 課 課 長 補 佐
川 柳 中 央 診 療 事 務 掛 長

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会出席者名簿

大学名	官職	出席者氏名	大学名	官職	出席者氏名
北海道大学	副部長	真弓 享久	三重大学	副部長	丸山 一男
弘前大学	部長	松本 明和	滋賀医科大学	部長	天方 義邦
	副部長	坪 敏仁	京都大学	副部長	玉井 直
東北大学	副部長	松川 周	大阪大学	副部長	妙中 信之
秋田大学	部長	鈴樹 正大	鳥取大学	副部長	斉藤 憲輝
山形大学	部長	一柳 邦男	島根医科大学	部長	小坂 義弘
筑波大学	副部長	筒井 達夫	岡山大学	助教授	塩 飽善友
	講師	永谷 太郎	広島大学	副部長	大谷 美奈子
群馬大学	部長	藤田 達士	山口大学	部長	前川 剛志
	副部長	国元 文生	徳島大学	副部長	荒瀬 友子
千葉大学	助手	大竹 善雄	香川医科大学	副部長	相引 眞幸
東京大学	部長	土田 嘉昭	高知医科大学	部長	真鍋 雅信
新潟大学	講師	佐藤 一範	九州大学	部長	福井 仁士
金沢大学	講師	石瀬 淳		副部長	谷山 卓郎
福井医科大学	部長	後藤 幸生	佐賀医科大学	副部長	谷口 良雄
山梨医科大学	講師	田中 行夫	長崎大学	副部長	長谷場 純敬
信州大学	助手	深谷 幸雄	熊本大学	部長	岡元 和文
岐阜大学	教授	土肥 修司	大分医科大学	講師	野口 隆之
浜松医科大学	部長	原田 幸雄	宮崎医科大学	部長	高崎 真弓
名古屋大学	副部長	武澤 純	鹿児島大学	部長	山田 晴彦
当番校			琉球大学	副部長	伊波 寛
東京医科歯科大学	部長	天羽 敬祐			
	副部長	角田 幸雄			

【議題】

- I. 全国国立大学病院集中治療部のアンケート調査に基づく集中治療部施設の活動状況と問題点について
(大阪大学、東北大学、名古屋大学、広島大学)

- II. 中央診療施設として訓令化の促進について
(香川大学、滋賀医科大学)

- III. 国立大学病院集中治療部設置基準について
(弘前大学、長崎大学)

- IV. 集中治療部職員の増員、特に技官の配置について
(鳥取大学、群馬大学、広島大学、長崎大学)

- V. 集中治療部近代化予算要求
(長崎大学)

- VI. 保険診療枠の拡大
(長崎大学)

- VII. 集中治療部協議会の持ちまわり制について
(弘前大学)

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 名古屋大学

提案議題

議 題：I.

全国国立大学病院集中治療部のアンケート調査に基づく、各集中治療施設の活動状況と問題点について（大阪大学、東北大学及び広島大学と共同提出議題）

理 由：

第6回全国国立大学病院集中治療部協議会の決定に基づき、全国国立大学病院集中治療施設のあり方委員会として全国大学病院の集中治療施設の実態調査を行った。その結果、医療スタッフの恒常的な人員不足、救急部との運営形態等に関して重大な問題点が存在する事が伺われた。今回のアンケート調査の結果及びそれを踏まえた今後の対策に関する参考資料として報告したい。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 大阪大学

提案議題

議題：I.

全国国立大学病院集中治療部のアンケート調査に基づく集中治療施設の活動状況と問題点について（東北大学、名古屋大学、広島大学と共同議題）

理由：

第6回全国国立大学病院集中治療部協議会の決定に基づき、全国国立大学集中治療施設のあり方委員会として、全国国立大学集中治療施設を対象にアンケート調査を行ったので、その結果を報告する。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 香川医科大学

提案議題

議題：Ⅱ．訓令化の促進について

理由： 最近の医療は、細分化さらに高度化し、治療に際しては、集学的治療が望まれる。集中治療部は、その様な治療の中心的役割を果たしていることは周知のごとくであるが、社会的ニーズにもかかわらず本学を含め、未だ集中治療部が訓令化されていない国立大学が存在する。予算要求の節減を余儀なくされる社会的状況があり、早急な訓令化は困難と思われるが、単年度の訓令化数を増加する等の措置を取っていただき、速やかに国立大学すべてにおいて、集中治療部が設置されることを強く要望するものである。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 滋賀医科大学

提案議題

- 議題：Ⅱ.1. 中央診療施設として、文部省の認可が得られるようお願いしたい。
2. 学会認定の施設としても、早急をお願いしたい。

理由：

1. 医師，看護婦等の人員は一並びに予算の配分をいただき、スムーズな運営を行いたい為であります。
2. 研修医の養成をスムーズに実施できるようにしたい為であります。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 弘前大学

提案議題

議題：Ⅲ.国立大学病院集中治療部設置基準について

理由：

国立大学の集中治療部は、治療のみでなく研究及び教育機関としての役割も持ち、他施設の集中治療部とは性質が異なると考えられる。現在、集中治療室管理の設置基準が厚生省によって決められているが、国立大学独自のものはない。国立大学病院集中治療部の独自の設置基準が有れば、達成すべき目標が明確になる。また、われわれは、毎年歳出概算要求を行っているが、要求はなかなか実現してもらえないのが現状である。このような設置基準が有れば、予算及び人員請求時にも有利と考えられる。

Working group :

病院規模 対象疾患

ICU, CCU 主体 etc.

内容の著しく多岐

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 長崎大学

提案議題

議題：Ⅲ. 特殊診療、施設整備（設置）要求の統一基準

理由：

厚生省は「高次機能病院」の指定基準に集中治療部の存在は必須となっている。

毎年の概算要求に際して標準となるべきものがない。

床面積

病床数

職員構成及び数

•

•

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 鳥取大学

提案議題

議題：IV.

集中治療部職員の増員、特に技官の配置について

理由：

集中治療部の業務の中で、人工呼吸器、酸素療法機器、補助循環装置、血液浄化装置、各種監視装置など、生命維持管理装置の操作や保守点検を行うことは大変に重要な日常業務となっている。このために昭和63年度から臨床工学技士の制度が施行され、今や全国的に相当数の有資格者が誕生し、ICUにおけるこの職種の役割は益々重要度を増している。

しかるに、国立大学病院の集中治療部にはこの業務に当る技官が配置されていないために、唯でさえ定員の少ない医師、看護婦がこのような業務にも当らざるをえず、これが円滑な集中治療を休みなく行う上での重大な負担・支障となっている。

このような現状から、技官（臨床工学技士）の定員配置を強く要望する。

現在2校

来年度 1人増

臨床工学技士20名
増員 (増員217/211)

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 群馬大学

提案議題

議題：Ⅳ.臨床工学技士の定員化について

理由：

人工呼吸器，I A B P，血液浄化装置などの生命維持管理装置を扱う集中治療部は臨床工学技師を必要とし、また最も適した職場と考える。

職種としてとりあげ、定員化をすすめていただきたい。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 広島大学

提案議題

議題：Ⅳ.

臨床工学技士の配置について

理由：

人工呼吸器，血液浄化装置等，高度な専門技術を要する高額機器を高頻度に使用するICUには，専門的知識技能を有する臨床工学技士の配置が必要であると考えます。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 長崎大学

提案議題

議 題：IV. 臨床工学技士の配置

理 由：

生命維持装置の最も多い所は集中治療部である。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 長崎大学

提案議題

議 題：V.集中治療部近代化予算要求

理 由：

開設後10年近くなると医療機器の性能の老化，低下が著しい。
2000万円以下のものは予算要求の道がない。

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 長崎大学

提案議題

議 題：VI.保険診療枠の拡大

理 由：

査定減が問題になる。

別 紙

第7回全国国立大学病院集中治療部協議会

大学名 弘前大学

提案議題

議題 VII

集中治療部協議会の持ちまわり制について

理由

当日説明

しつぱく持ちまわり=しつぱく...